

KOSHIN

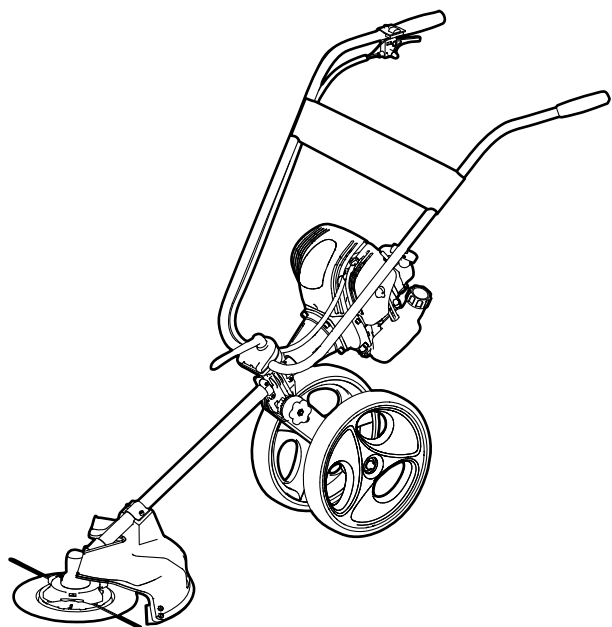
はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ご使用の前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

警告



指定純正ナイロンカッター／コード専用
その他の刈刃やオプション品は取り付けできません。



改造禁止

改造して上記の刈刃などを取り付けた場合、キックバック（跳ね返り）を起こし、重傷を負うおそれがあります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

EBC-35C 4-STROKE

手押し式エンジン草刈機 取扱説明書（保証書付）

用途

雑草の草刈り

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに

各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4

準備

組み立て方／折りたたみ方	7
燃料、エンジンオイルの給油	14
運搬する場合には	16
定期点検を行いましょう	17

使用方法

エンジンの始動／停止	18
草を刈る	21
使用後のお手入れ	25
一時保管／長期保管	26

保守・点検

「故障かな？」と思ったら（故障と処置） ..	27
保守・点検	28

その他

主な仕様	30
保証書	裏表紙

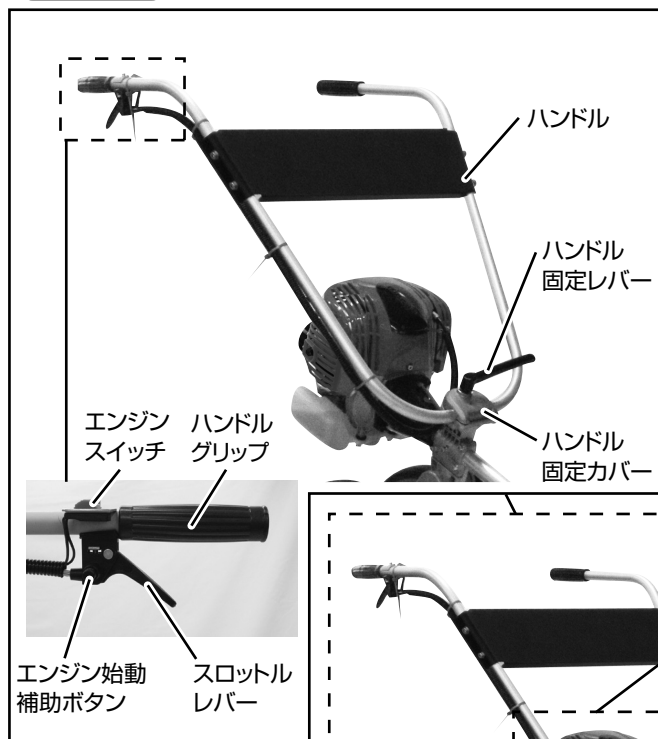
株式会社 **工進**

20-11 076011202

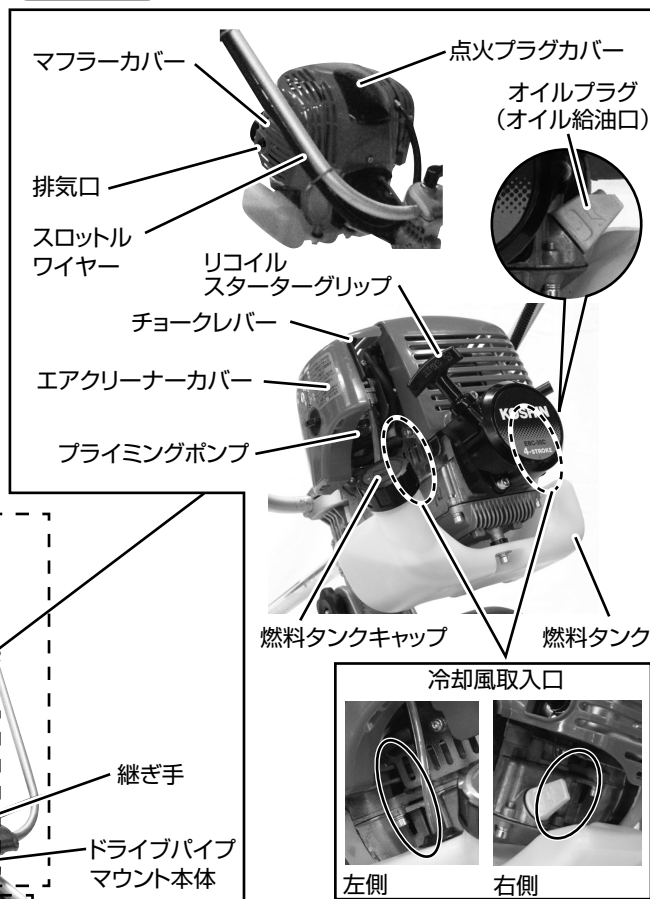
各部の名称

本体

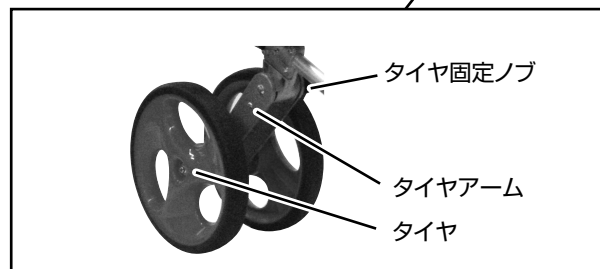
ハンドルまわり



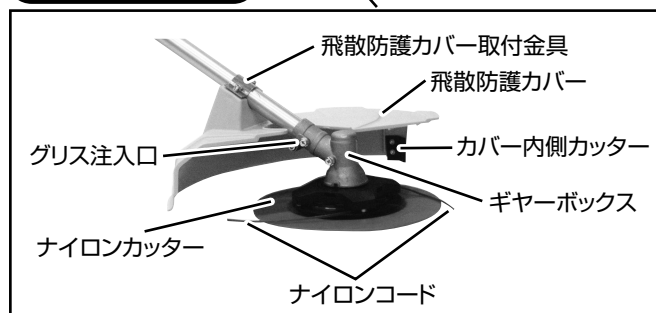
エンジン



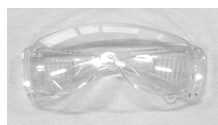
タイヤまわり



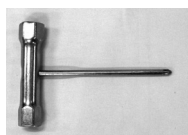
ナイロンカッターまわり



付属品



保護めがね



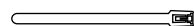
プラグレンチ



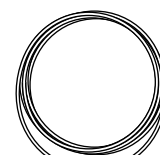
六角レンチ



オイルポット



結束バンド1本



ナイロンコード 4m
(ナイロンカッター本体に取付済み)

パーツのご注文は

パーツは必ず指定のものをご使用ください。

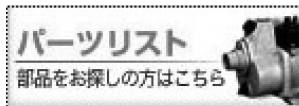
パーツは購入店または弊社製品お取扱い店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

ご注文時のお願い

部品番号（7 ～ 9 桁）または機種名・JAN、
名称、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・単価

- 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp> にアクセス
- 2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



- 3) エンジンパーツリストをご覧の場合は、2) のあとさらに「エンジンパーツリスト」バナーをクリック



主なパーツ

名称	機種名・JAN	備考
EBC-35C ナイロンコードパック (20m)	機種名 : PA-416 JAN : 4971770-200975	4m に切断してご使用ください

※ 下記のナイロンカッター／コードをお買い求めいただくと、ナイロンコードを「手動巻き込み式」から「さし込み式」に変更できます。その際、PA-431と PA-434 はセットでご使用ください。セットで使用しないと本機が故障するおそれがあります。

PA-429 は PA-431用の交換ナイロンコードです。

名称	機種名・JAN	備考
EBC-26C ナイロンコード φ3 (20本入)	機種名 : PA-429 JAN : 4971770-201118	
EBC-26C 交換用ナイロンカッタークミ／ ナイロンコード φ3 (10本入)	機種名 : PA-431 JAN : 4971770-201125	
EBC-26C 刃受金具・ボルトセット	機種名 : PA-434 JAN : 4971770-201132	 PA-431ナイロンカッターを 取り付けるためのボルトです

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
--	--

■その他の表示：**取り扱いのポイント**…正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示しています。仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますのでご了承ください。

危険

 飛散防護カバーなど、部品類は必ず取扱説明書に従って確実に取り付ける

 使用する前に必ず周囲に人や動物がいないことを確認する
特に高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する
確認しないで使用すると、事故の原因になります。

 使用中は危険防止のため、半径 15m 以内に他の人や動物を近づけない
事故の原因になります。

 2人以上で作業を行うときはお互いに 15m 以上の間隔を取る
また、監督者をおく
使用中、15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちに本機を停止し作業を中止して、注意をうながす
不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。

 本機を使用している人に近づくときは、使用者から 15m 以上離れた位置で合図し、本機の停止と回転の停止を確認してから近づく
不用意に近づくと使用者が気がつかず事故の原因になります。

 燃料を取り扱うときは火気厳禁
タバコを吸ったり、炎や火花などの火気を近づけないでください。燃料への引火や火災の原因となります。

 燃料を取り扱うときは人体の静電気を放電してから行う
放電しないと、静電気の放電による火花により気化した燃料に引火や火災の原因となります。本機の金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。

 本機を室内およびハウス内など換気の悪い所では運転しない
エンジンの排気ガス中には、有害な物質が含まれており、ガス中毒を起こすおそれがあります。

危険



くぼ地の脇などで運転する場合は、くぼ地に入らない

エンジンの排気ガスがくぼ地に滞留し、ガス中毒を起こすおそれがあります。



本機にカバーをかぶせたり、ハンドルにタオルなど燃えやすいものをくくりつけて運転しない

火災や故障の原因となります。

警告



草刈りをする場所にある小石、針金、空き缶、空き瓶などの障害物は取り除いてから使用する

使用中、ナイロンカッター・ナイロンコードが障害物に当たると、障害物の飛散、本機のキックバック（跳ね返り）、ナイロンカッター本体の破損などにより事故の原因になります。



作業時に適した服装で作業する

（21ページもあわせてご覧ください。）



無理な姿勢で作業をしない

常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。



髪、衣服、手袋などは回転部分に近づけない
回転部に近づけると巻き込まれてけがの原因になります。



長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う
守らないと、巻き込まれてけがの原因になります。



手ぬぐいやタオルを首、腰から下げて作業しない

回転部に巻き込まれけがの原因になります。



ナイロンカッターで打つ、たたくなどの方法で草刈り作業をしない

ナイロンカッター・ナイロンコードが破損し、事故の原因になります。



枝打ち作業・壁や岩などに生えている草刈り作業などには使用しない

けがや事故の原因になります。



使用中およびエンジンを停止した直後は回転部に手足や顔などを近づけない

エンジンを停止した後も回転部がしばらく回っているので注意してください。けがの原因になります。



雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地などの不安定な場所では使用しない

転倒してけがの原因となります。



本機を雨の中で運転したり、ぬれた手で操作しない

感電のおそれがあります。



可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しない

本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。



作業場は明るくする

作業場が暗いと、事故の原因になります。



定期点検を行う

点検が不十分だと、事故の原因になります。



次のときは本機を使用しない

事故の原因になります。

- ・ 疲れているとき、身体が不調のとき。
- ・ 酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
- ・ 夜間の使用や悪天候などで視界が悪いとき。
- ・ 妊婦による作業。

警告



本機に幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する



修理技術者以外の方は、取説記載内容以外の分解や修理・改造は絶対に行わない
異常動作してけがをするおそれがあります。

注意



定期的に休息をとる

本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。



誤って、ぶつけたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



熱くなっているマフラーやエンジン各部をさわらない

やけどのおそれがあります。



万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける

救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品をいれておく。

取り扱いのポイント

- ・ 極端な高温や低温の環境下では使用しないでください。十分な性能を得ることができません。
- ・ 本機を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置かないでください。故障の原因になります。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

警告ラベルのメンテナンス

- ・ 本機には、警告ラベルが貼付されています。
- ・ 警告ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

組み立て方／折りたたみ方

⚠ 警告

- ❗ 本機の組み立てや付属品を取り付ける、または取り外すときは、必ずエンジンを停止した状態で行う
エンジンを運転したまま行くと事故の原因になります。

- ❗ 付属品を正しく取り付けてから草刈り作業を行う

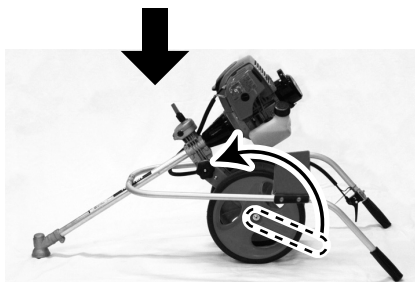
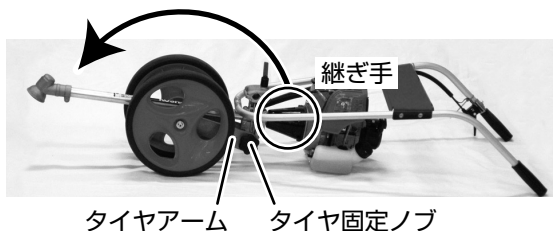
組み立て方

本機を、草刈りに適した「使用状態」にします。



1) タイヤ部を組み立てる

- ① タイヤ固定ノブを軽くゆるめる
- ② 継ぎ手部分を持って、本機を持ち上げるようにしてタイヤアームを回転させる

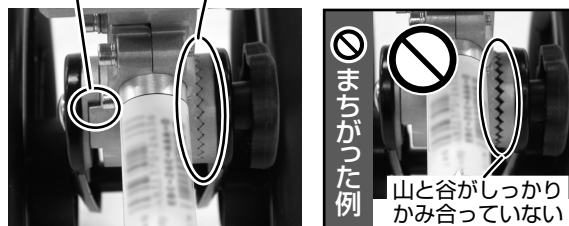


⚠ 注意

- ❗ 指詰めに注意する
各部の固定が解除されるため、注意して作業を行ってください。

- ③ タイヤアームの角度ストッパーが当たるところまで回転させたら、固定ツメの山と谷がぴったりかみ合わせた状態でタイヤ固定ノブをしっかりと締めつける。

角度ストッパー 固定ツメ



⚠ 注意

- ❗ 固定ツメの山と谷は必ず合わせる
合っていないと振動などで不意にタイヤ部の固定が解除されてしまい、思わぬ事故の原因となります。

取り扱いのポイント

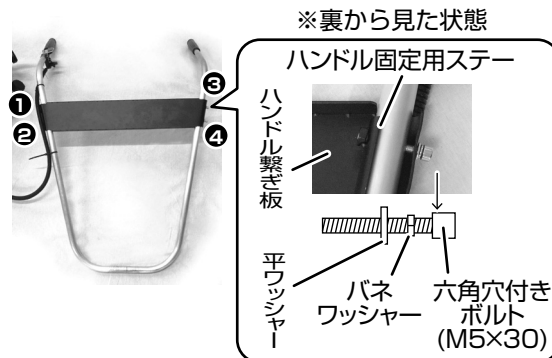
- ・ 継ぎ手部分を持ってエンジンを軽く浮かせながら締めると調整しやすくなります。

2) ハンドルを取り付ける

- ① ハンドルを組み立てる。
ハンドル（右）クミにハンドル（左）クミの連結部をさし込む



- ② ハンドル繋ぎ板をのせ、六角穴付きボルト4本とハンドル固定用ステー2個で仮止めする。



はじめに

準備

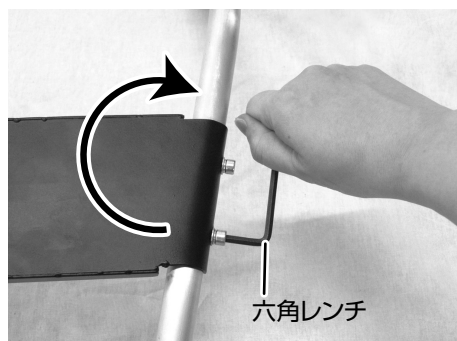
使用方法

保守・点検

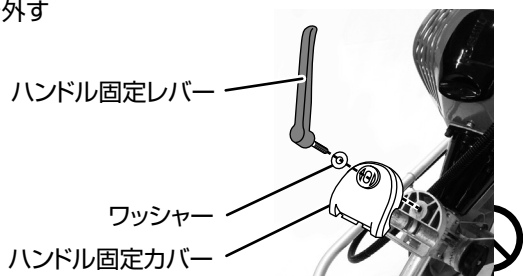
その他

組み立て方／折りたたみ方

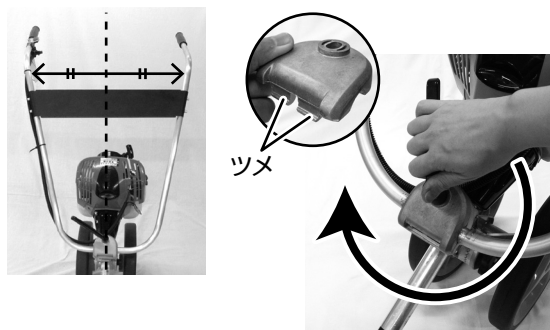
- ③ 六角穴付きボルトを六角レンチでしっかり締めつける



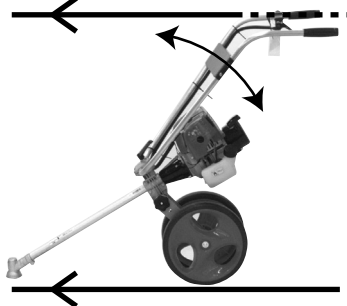
- ④ ハンドル固定レバーをゆるめ、ハンドル固定カバーを外す



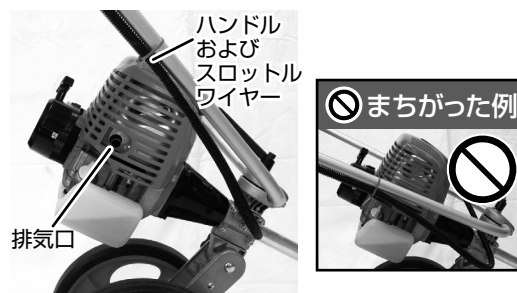
- ⑤ ハンドルをハンドル固定部に合わせる
その時、それぞれの中央が合うようにしてください。
- ⑥ ツメを穴にさし込むようにしてハンドル固定カバーを被せ、ハンドル固定レバーで軽く締め、仮固定する。



- ⑦ ハンドルグリップが地面に対して平行になる角度（標準角度）に調整する



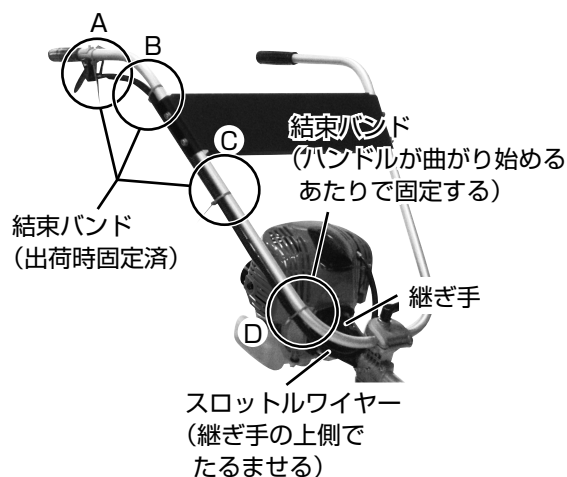
標準角度よりお客様の使いやすい角度に調整できますが、排気がハンドルおよびスロットルワイヤーに当たらないよう、ハンドルを下げ過ぎないでください。



- ⑧ ハンドル固定レバーをしっかり締め付ける
ハンドル固定レバーの締め付けが不十分だと作業中に不用意にハンドルが動き危険です。

3) スロットルワイヤーを固定する

- ① スロットルワイヤーが継ぎ手の上側に来ていることを確認する
- ② 付属の結束バンドを使用して図のようにスロットルワイヤーをハンドルに固定する



組み立て方／折りたたみ方

4) 飛散防護カバーを取り付ける

飛散防護カバー（以下カバー）は作業者に異物が飛散することを防ぐ役目があります。

⚠ 警告



カバーを必ず所定の位置に正しく取り付けて使用する

正しく取り付けないで使用すると、飛散物を防護できないまたは効果が下がり、ケガのおそれがあります。

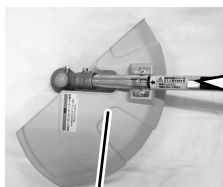
⚠ 注意



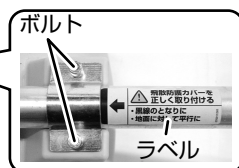
カバー内側のカッターには触れない

カバー内側にはナイロンコードを切るためのカバー内側カッターが付いています。ケガのおそれがあるため触れないでください。

- ① 図のように本体貼付ラベルの黒線のとなりに、地面に対して平行にカバーを仮留めする
平行になっていないと、カバー内側カッターが機能せず、本体が故障する可能性があります。

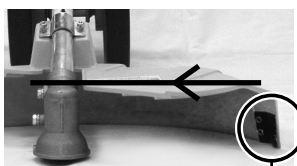


飛散防護
カバー



ボルト

ラベル



カバー内側カッター



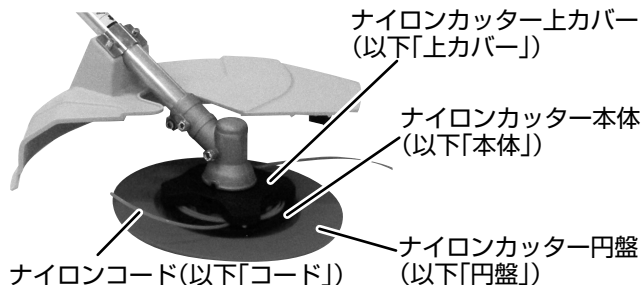
まちがった例

取り扱いのポイント

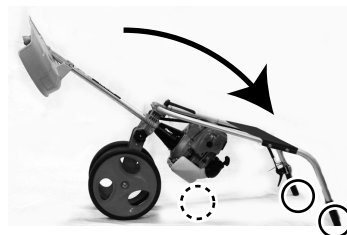
- ・カバー内側カッターは、間違った取り付けによる長すぎるナイロンコードを切ることで、本機を故障から守ります。
- ② 仮留めした六角穴付きボルト2本を六角レンチでしっかり締めつける

5) ナイロンカッターを本機に取り付ける

ナイロンカッター各部の名称



- ① ハンドル固定レバーがしっかりと締まり、ハンドルの角度が確実に固定されていることを確認する
- ② 本機をゆっくりとハンドル側に倒す
ハンドルが地面に着き、エンジンが地面から浮いていることを確認してください。

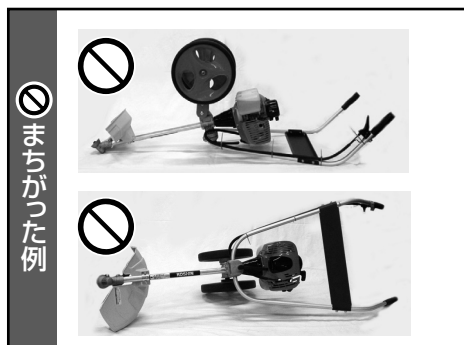


⚠ 注意



本機を天地逆にしたり、横に倒したりしない

燃料がもれるなどして、思わぬ事故の原因となります。



まちがった例

はじめに

準備

使用方法

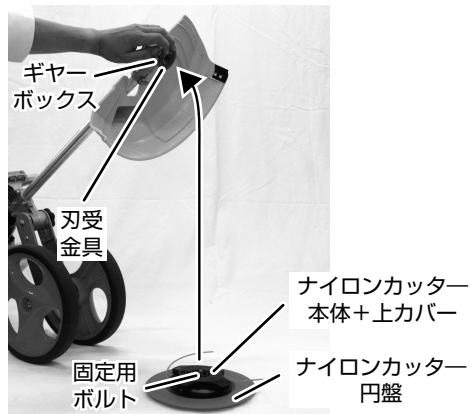
保守・点検

その他

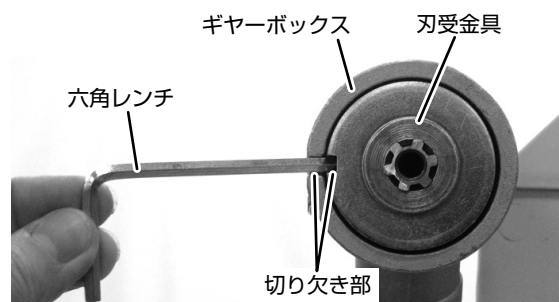
組み立て方／折りたたみ方

③ 下図を参考に仮留めする

ギヤーボックスと刃受金具の切り欠き部（④参照）が合うように刃受金具を合わせてください。刃受金具が落ちないように指で押さえながら、手で固定ボルトを反時計回りに回してください。

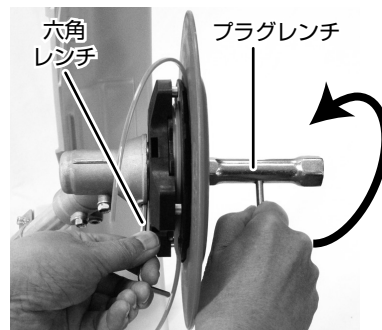


④ 手で固定ボルトが回せなくなったら、ギヤーボックスと刃受金具の切り欠き部を合わせて六角レンチをさし込む 刃受金具が回らないように固定されます。



（写真はナイロンカッターなどを省略しています）

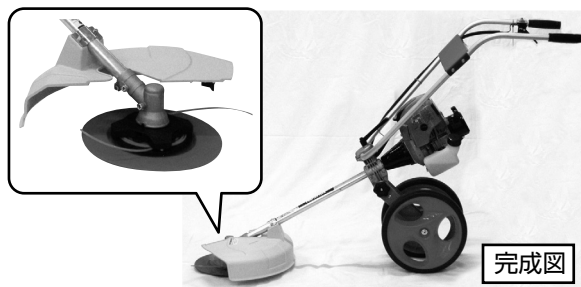
⑤ 六角レンチを差し込んだまま、付属のプラグレンチで固定ボルトを反時計回りに回してしっかり締め付ける



⚠ 注意

❗ 固定ボルトはしっかり締め付ける
締め付けが弱いと回転したナイロンカッターが外れ、ケガをするおそれがあります。

⑥ 六角レンチとプラグレンチを外し、ナイロンカッターがしっかりと取り付けられていることを確認する



ナイロンカッターの取り外し方

取り付け方と逆の手順で行ってください。
固定ボルト（左ネジ）は時計回りに回すとゆるみます。

組み立て方／折りたたみ方

6) ナイロンコードを巻き込む

製品出荷時はナイロンコードがナイロンカッター本体にすでに取り付けられています。ナイロンコードが短くなったら、以下の手順で新しいコードを巻き込んでください。

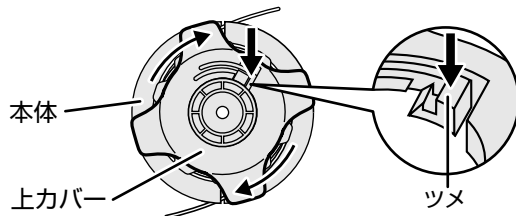
⚠ 注意

！ 対応する純正コード以外の草刈用ナイロンコード、針金、ワイヤー、硬質ビニールなどは絶対使わない

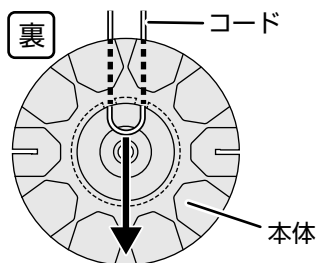
！ 取り付けるナイロンコードは4m以下とする
守らないと本機が異常振動し、思わぬ事故の原因となります。また、ナイロンカッター本体の寿命が短くなる可能性があります。

！ コードを取り付け直すときはエンジンを停止してから行う

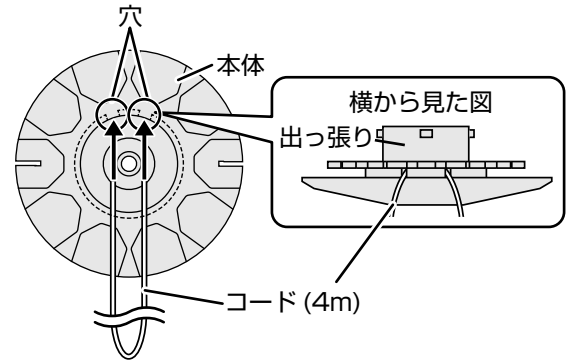
- ① 交換用コード（3ページ「主なパーツ」参照）20mのうち、4mを切り取る
- ② エンジンスイッチを切（STOP）にし、ナイロンカッターを本機から取り外す
- ③ ツメを押しながら上カバーを時計回りに回し、本体から上カバーを外す



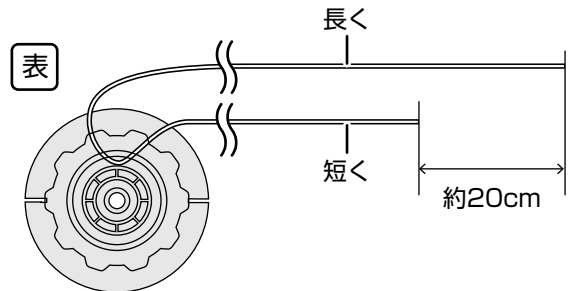
- ④ 本体を裏向ける。残っているコードを穴から引き出す。



- ⑤ 穴(2カ所)に①で用意した新しいコードをさし込む



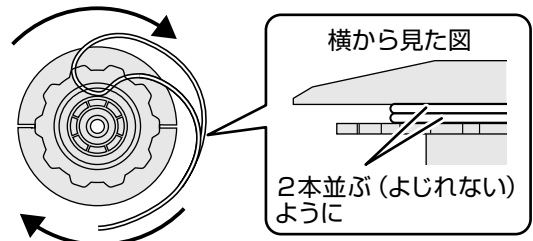
- ⑥ 本体を表に向ける。コードを引っ張り、2本の長さを図のようにする。



取り扱いのポイント

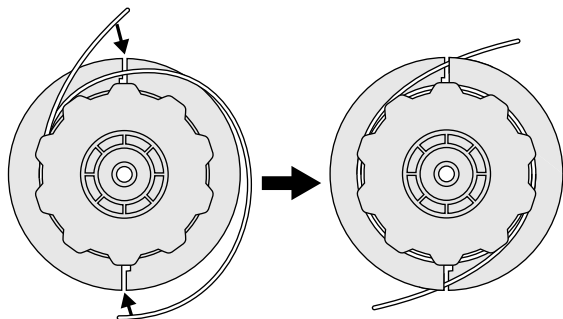
- ・ コードの長さに差をつけることで、巻き込んだあととカットされる不要なコードの量を少なくできます。

- ⑦ 横から見たとき、コードが2本並ぶ（よじれない）ようにして強くひっぱりながら、2本あわせて時計回りに巻き込む

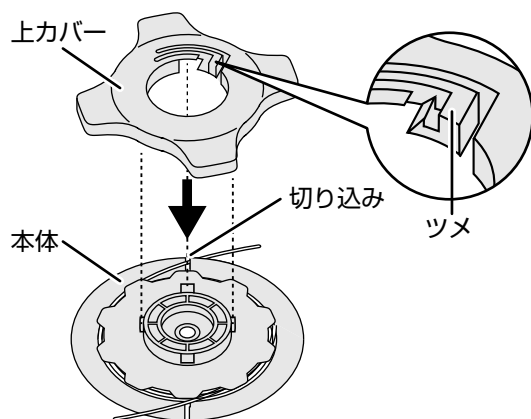


組み立て方／折りたたみ方

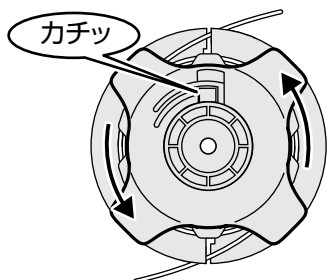
- ⑧ 巻き込みが終わったら、本体の切り込みにコードを軽く引っ掛けて仮留めする（もう一本も同様に）



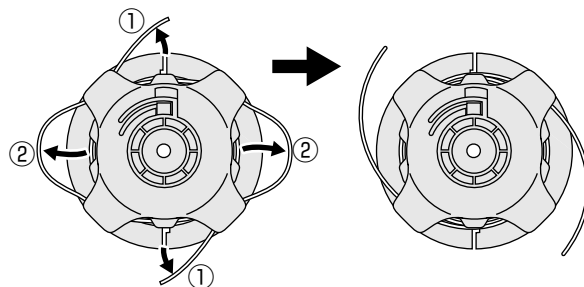
- ⑨ 上カバーをかぶせる。その時、上カバーと本体の間にコードをはさまないようにする。



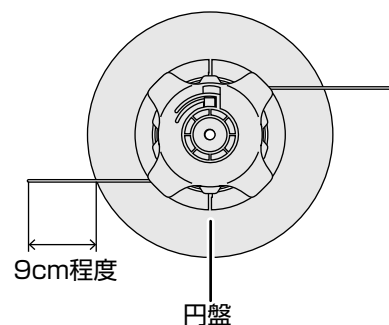
- ⑩ 上カバーを軽く押さえながら、反時計回りに止まるまで回す
「カチッ」と音がして、上カバーが確実に取り付けいたことを確認してください。取り付けが不十分だとナイロンカッターが回転したときに外れるおそれがあります。



- ⑪ 切り込みに引っ掛けたコードを外し、一山分コードを引っ張り出す（もう一本も同様に）



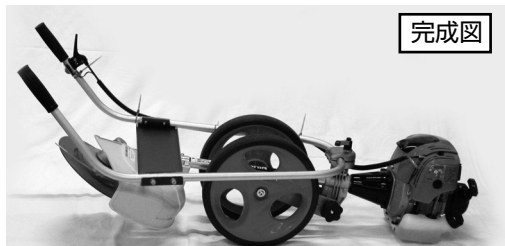
- ⑫ 本体を円盤に載せ（円盤の出っ張りに位置を合わせる）、円盤の端からコードが約9cm程度出ていることを確認する。
長すぎるコードは、エンジンを始動してナイロンカッターを回転させたときにカバー内側カッターによって適切な長さに切られます。



組み立て方／折りたたみ方

折りたたみ方

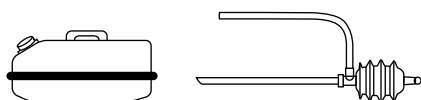
本機を保管・運搬などに適した「折りたたみ状態」にします。



- 1) エンジンの運転直後の場合は、エンジンが熱くなっているため冷えるまで待つ。

燃料タンクに燃料が入っている場合、2) から 4) を行う

- 2) 消防法に適合した燃料携行缶と、手動式ガソリン用ポンプを用意する



⚠ 危険



電動式ポンプは使用しない
引火の原因となります。

- 3) ⚠ 危険 身体に帯電した静電気を放電する

本機の金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。放電しないと、静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火するおそれがあります。

⚠ 危険



燃料を取り扱うときは、タバコの火や他の火種になるような物を近づけない

- 4) 燃料タンクキャップを開け、2) で用意した燃料携行缶にポンプを使用して燃料を移す

⚠ 危険



燃料をこぼさない

燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。
拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

- 5) ハンドル固定レバーをゆるめハンドルを折りたたむ

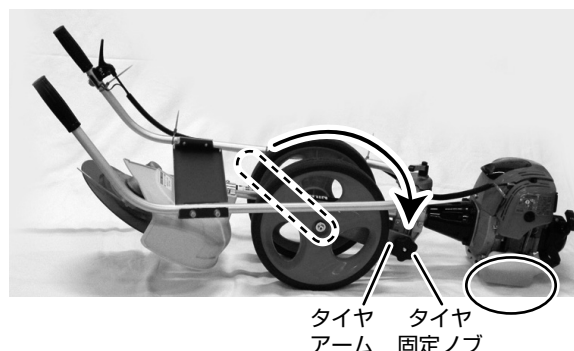
ハンドルが不用意に動かないように、折りたたみ後はハンドル固定レバーを締め付けてください。



- 6) タイヤ固定ノブを軽くゆるめる

- 7) タイヤ部を折りたたむ

本機を持ち上げるようにしてタイヤアームを回転させてください。その際、燃料タンクを傷つけないよう、エンジンはゆっくりと地面に置いてください。



⚠ 注意



指詰めに注意する

各部の固定が解除されるため、注意して作業を行ってください。

- 8) タイヤ固定ノブを締め付けてタイヤアームを固定する

タイヤアームが不用意に動くことを防ぎます。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

燃料、エンジンオイルの給油

4サイクルエンジンには「燃料」と「エンジンオイル」の2種類が必要です。必ず両方とも給油してから始動してください。

取り扱いのポイント

- ・ 燃料およびエンジンオイルの種類を守る
守らないと、エンジン故障の原因となります。

燃料の給油

ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。以下の手順を必ず守って作業を行ってください。

1) 以下を用意する

- ・ 使用燃料：レギュラーガソリン
燃料タンク容量：約0.7L

取り扱いのポイント

- ・ 古い燃料は使用しない
燃料携行缶などで長期（1ヵ月以上）保管したガソリンは変質し、エンジン始動不良や故障の原因となります。大量に準備せず、一度の作業に必要な量だけ準備してください。
- ・ ガソリンを一時的に保管・運搬するときは、消防法に適合した燃料携行缶を使用する
灯油かん（通称：ポリ缶）やペットボトルに保管しないでください。ガソリン内に成分が溶け出し、エンジンに悪影響を及ぼすおそれがあります。

1) **危険** 本機を以下のような場所に置く

- ・ 焚き火などの火種がない
- ・ 換気が良い
- ・ 地面が平坦・水平で硬い

2) エンジンが停止していて、冷えている事を確認する

危険

- 燃料タンクに燃料が入っていて、エンジンが熱い時や気温が高い時は燃料タンクキャップを開けない**
ガソリンが勢いよく噴出するおそれがあります。
- エンジンが熱い時は給油しない**
エンジン停止直後などエンジンが熱い時に給油すると引火のおそれがあります。

3) 本機を使用状態にする

注意

- 折りたたんだ状態では給油しない**
給油したあとに本機を通常状態にすると、燃料タンクキャップから燃料がもれる可能性があります。

4) 本機が不意に動かないよう固定する。

危険

- 燃料を取り扱うときは、タバコの火や他の火種になるような物を近づけない**

5) **危険** 身体に帯電した静電気を放電する

本機の金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。放電しないと、静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火するおそれがあります。

6) 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を無くす

その後、燃料タンクキャップを開けてください。



7) 燃料をゆっくり、給油限界目安まで給油する

入れすぎると、燃料給油キャップからにじみ出る原因となります。

警告

- 燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医師の診断を受ける**
また、燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石けんと水で直ちに洗い、衣類は取り替える

燃料、エンジンオイルの給油

取り扱いのポイント

燃料タンク内に水、雪、ゴミが入らないようにしてください。

8) 燃料タンクキャップを確実に締め付ける

⚠ 注意



こぼした燃料は拭き取る

燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取り、乾かしてからエンジンを始動してください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

エンジンオイルの給油

取り扱いのポイント

・ エンジンの始動前に必ずエンジンオイルを給油する

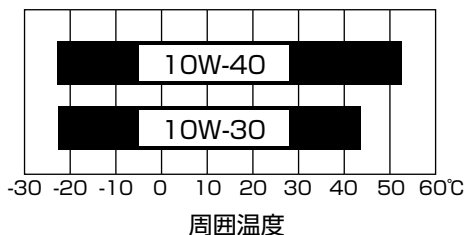
エンジンオイルが入っていない状態でエンジンを始動すると、エンジンが故障（焼き付き）します。焼き付きによる故障は保証外です。

1) 以下を用意する

- ・ 推奨オイル：4サイクル用エンジンオイル
SE級以上 SAE 10W-30
エンジンオイル規定量：0.1L
- ・ 付属のオイルポット

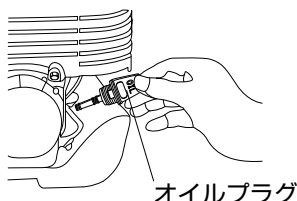
取り扱いのポイント

- ・ お使いの地域の平均気温が下図の表記の範囲内であれば、他の粘度のオイルを用いることができます。



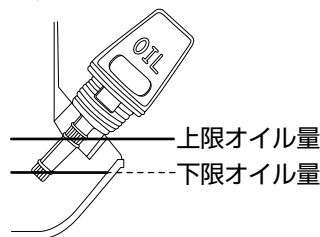
2) エンジンを水平にする

3) オイルプラグを外す



4) オイル給油口の口元まで給油する

- ・ 付属のオイルポットを使用すると正しく給油しやすくなります。
- ・ エンジンオイル規定量が少量のため、オイルがあふれないよう少しずつ様子を見ながら給油してください。



5) オイルプラグを取り付けて、しっかりと締め付ける。

取り扱いのポイント

- ・ 初回のみ、8時間運転または1ヵ月後にオイル交換を行ってください。交換しないとエンジンが焼き付きなどの故障を起こすおそれがあります。2回目以降は17ページの定期点検表に基づいて交換してください。
- ・ こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

運搬する場合には

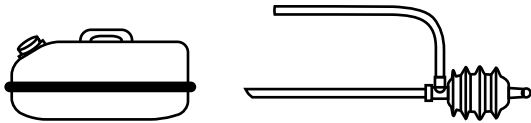
本機を車両などで運搬する場合には、以下を必ず守ってください。

1) エンジンを停止する

2) エンジンが十分に冷えるまで待つ

燃料タンクに燃料が残っている場合、3)から5)を行う

3) 消防法に適合した燃料携行缶と、手動式ガソリン用ポンプを用意する



⚠ 危険

- ❌ 電動式ポンプは使用しない
引火の原因となります。

4) ⚠ 危険 身体に帯電した静電気を放電する

本機の金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。放電しないと、静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火するおそれがあります。

⚠ 危険

- ❌ 燃料を取り扱うときは、タバコの火や他の火種になるような物を近づけない

5) 燃料タンクキャップを開け、3) で用意した燃料携行缶にポンプを使用して燃料を移す

⚠ 危険

- ❌ 燃料をこぼさない
燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。
拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

6) 本機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定する

⚠ 危険

- ❌ 本機および燃料入り携行缶を車室内やトランクに積んだまま、直射日光の当たるところや高温となる場所に放置しない
燃料が気化して引火し易やすい状態になる原因となります。

⚠ 警告

- ❗ 本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機が破損し、思わぬ事故の原因となります。

定期点検を行いましょ

本機を安全に、かつ快適にご使用いただくために定期点検を行ってください。

点検の結果、異状があった場合は本機を使用しないでください。

- ・点検時期は表示の期間毎または運転時間毎のどちらか早いほうで実施してください。
- ・表示時間を経過後すみやかに実施してください。
- ・点検をするときはエンジンを停止し、かつエンジンが十分冷えていることを確認してから行ってください。

草刈機としての定期点検

部位	項目	時期			参照 ページ数
		作業 前 / 後	作業中	25 時間 運転ごと	
各部	ネジ、ナット類のゆるみ点検	●			—
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷 などの点検	●			—
ナイロンカッター本体	固定ボルトのゆるみ点検	●	●		9 ~ 10
ナイロンコード	正しい取り付けの点検	●			11 ~ 12
飛散防護カバー	取り付け位置、角度の点検	●			9
タイヤアームの 固定ノブ	締め付けの点検	●			7
ハンドル	取り付け角度の点検	●			7 ~ 8
ギヤーボックス	周辺の清掃	●			25
	グリスの補給			●※1	29

エンジンの定期点検

部位	項目	時期						参照 ページ数
		作業 前 / 後	作業中	初回 8 時間 運転後 または 1 カ月後	20 時間 運転ごと または 3 カ月ごと	50 時間 運転ごと または 6 カ月ごと	2 年 経過 ごと	
各部	ネジ、ナット類のゆるみ点検	●						—
エンジンオイル	点検	●						15
	交換			●		●		28
燃料配管部	点検	●				●		—
	交換						●※1	—
エアクリーナー	点検・清掃	●			●※2			29
	交換						●※2	
冷却風取入口、冷却フィン、 マフラー周辺	点検・清掃	●	●			●		23
点火プラグ	点検・清掃					●		29
	交換						●	
吸気、排気弁の隙間	点検・清掃					●※1		—
アイドルスピードの調整	点検・清掃					●※1		—
燃料タンクの点検、清掃	点検・清掃					●		—
燃料フィルター	点検・清掃					●		28
マフラー	点検・清掃				●			—
	交換						●※1	—

※1 これらの項目は適切な工具と整備技術を必要としますので、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

エンジンをいつまでも安全で快適に使用していただくために、部品交換を推奨いたします。

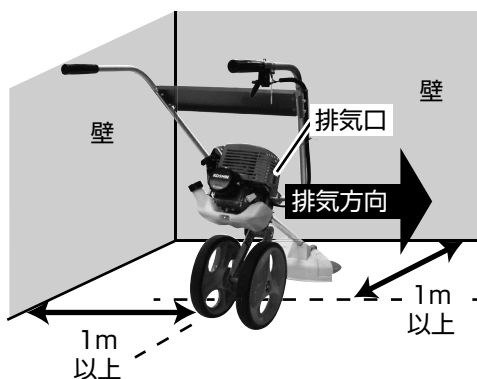
※2 エアクリーナーの交換は、エレメントのみ交換をおこなってください。

エンジンの始動／停止

エンジン始動時の注意

⚠ 危険

- ❌ 車内、テント内、トンネル内、倉庫、井戸、船倉、マンホールなど室内および換気の悪い場所では運転しない
エンジンの排気ガスには有毒な物質が含まれているため、ガス中毒を起こす原因となります。
- ❌ 本機の周囲を囲ったり、箱をかぶせて使用しない
また、本機の上に物を乗せて使用しない
- ❌ 傾斜地でエンジンを始動しない
平坦・水平で硬い場所で始動してください。
- ❌ 本機の周りにガソリン、エンジンオイル、または危険物(油脂類、セルロイド、火薬など)、燃えやすい物(わらくず、紙くずなど)障害物を近づけない
本機から出る排気ガスは熱くなります。建物およびその他の物から1m以上離してください。火災や故障の原因となります。
また、排気口は風通しの良い、広い場所に向けてください。(下図参照)



⚠ 警告

- ❌ エアクリーナーカバーなど部品類を外したまま使用しない
手や足をはさむなど思わぬ事故や、エンジン故障の原因となります。
- ❌ 雨の中や水のかかる場所では使用しない
雨や水で濡れている、または濡れた手で本機を操作すると、感電の原因となります。
また、故障の原因になります。

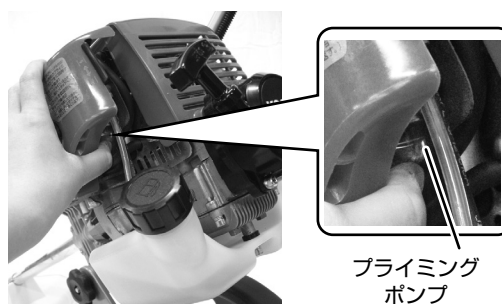
エンジンの通常始動

- 1) ハンドル付近にある、エンジンスイッチを入れるにする



- 2) カバー内側にあるプライミングポンプを約10回指で押す

エンジンの始動系統に燃料が供給されます。



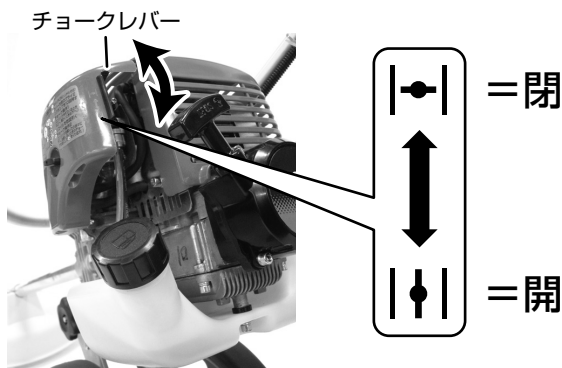
取り扱いのポイント

- ・ 本エンジンはプライミングポンプ操作を行ったとき、余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。プライミングポンプ操作を多く行っても吸い込み過ぎにはなりません。むしろ少ない場合には始動不良になることがありますので、十分行ってください。
- ・ エンジンの一時的停止直後はプライミングポンプを押す必要はありません。

エンジンの始動／停止

3) チョークレバーを操作する 1

- ・寒いときや、エンジンが冷えているとき：
チョークレバーを上（閉 |←|）にする
- ・暑いときや、エンジンが暖まっている（エンジンの一時停止直後など）とき：
チョークレバーを下（開 |↓|）にする



4) 下記に注意しながら、リコイルスターターグリップ（以下「リコイル」）を数回引く

- ・リコイル図のように、軽い力で一度に長くロープを引き出してください。



- ・ナイロンカッターに足や物が触れないよう十分に距離をとる。
- ・ハンドルに親指をかけ、他の指とともにハンドルを囲むように握る（スロットルレバーを握らない）。本機が固定されていることを確認する。（23ページ「振り返りについて」参照）

5) チョークレバーを操作する 2

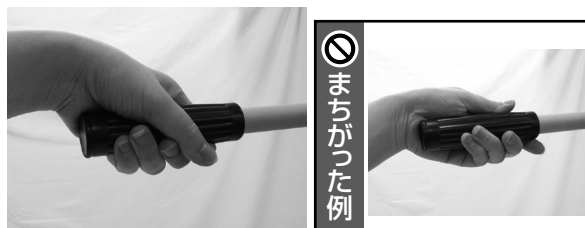
- ・エンジンが始動したとき：
少し（約 10 秒）そのまま様子を見て運転を続けるようなら、チョークレバーを徐々に下（開 |↓|）にする
- ・エンジンが始動しない、または数秒で停止するとき：
チョークレバーを下（開 |↓|）にして、再度リコイルを引く

6) リコイルをゆっくりと元に戻す

取り扱いのポイント

- ・エンジンの運転中はリコイルを引かないでください。エンジンが破損する原因となります。

7) ハンドルグリップに親指をかけ、他の指とともにグリップを囲むように握る



8) スロットルレバーから手を放した（エンジンの低速運転）状態で、約 1 分間エンジンを運転する（暖気運転）

暖気運転を行わずにスロットルレバーを深く握る（エンジンの高速運転）と、不意にエンジンが停止することがあります。

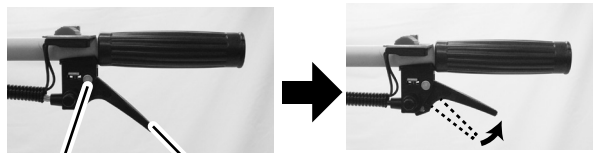
上記の方法でエンジンが始動できない時は「エンジン始動補助ボタン」を使用してエンジンを始動してください。

エンジンの始動／停止

エンジン始動補助ボタンを使用したエンジンの始動

- 1) スロットルレバーを深くにぎりながら、エンジン始動補助ボタンを押し込む
- 2) エンジン始動補助ボタンを押したまま、スロットルレバーを放す

スロットルレバーが3分の1程度の位置で固定されていることを確認してください。



エンジン始動補助ボタン スロットルレバー

- 3) エンジン始動補助ボタンから手を放す
- 4) 下記の「注意」を確認してから、「エンジンの通常始動」1～6を行う
- 5) エンジンが始動したらスロットルレバーをゆっくり深く握る
エンジン始動補助ボタンが自動的に解除されます。
- 6) 「エンジンの通常始動」7～8を行う

⚠注意



エンジン始動補助ボタンを使用したエンジンの始動は、ハンドルをしっかりとぎって行う

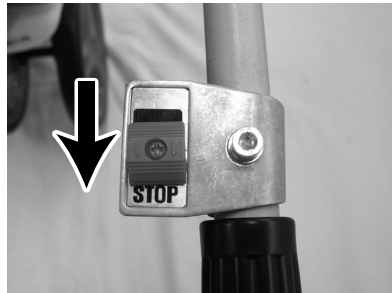
始動してすぐにナイロンカッターが回転するため、振り返りを防ぐためハンドルをしっかりとぎってください。

(23ページ「振り返りについて」参照)

エンジンの停止

エンジンの緊急停止

- 1) エンジンスイッチを切（STOP）にする

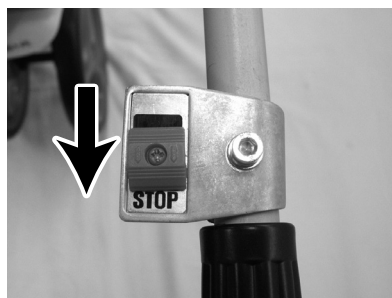


取り扱いのポイント

・この方法は、本機の思わぬ動作により緊急に停止する場合のみ行ってください。通常は次の「エンジンの通常停止」の通りエンジンを停止してください。

エンジンの通常停止

- 1) 平坦・水平で硬い場所に本機を移動させる
- 2) ハンドルグリップに親指をかけ、他の指とともにグリップを囲むように握る
- 3) スロットルレバーを完全に放す
- 4) ナイロンカッターが完全に停止したら、エンジンスイッチを切（STOP）にする

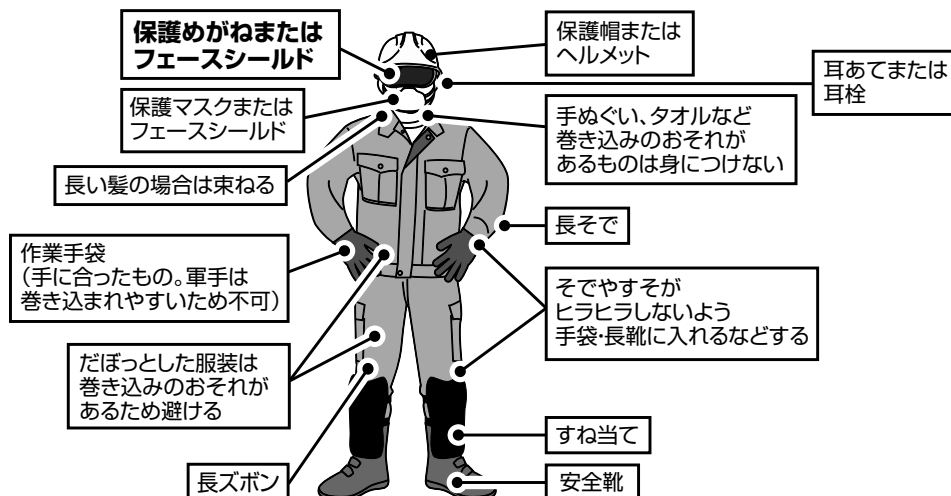


草を刈る

服装について

草刈時は石やゴミを巻き上げたり、本機の回転部に巻き込まれるなどしてケガをするおそれがあります。下図のような安全な服装で作業を行ってください。

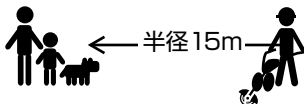
※保護マスクなどは付属していません。別途ご用意ください。



草刈時のチェックポイント

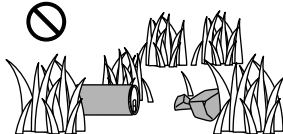
- ① 半径15m以内に人や動物はいませんか？

いる場合は安全のため本機を使用しないでください。



- ② 小石や空き缶などの障害物が草に隠れていませんか？

飛散すると危険なため、事前に確認し、取り除けるものは取り除いてください。



障害物 草に隠れた溝など



- ③ 草むらの中や付近の高所にハチの巣やヘビが隠れていませんか？

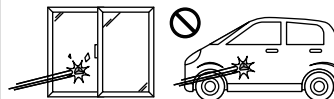
作業前に静かな状態で下見をしてください。

作業音はハチに刺激を与え、またハチの出す警告音をかき消します。



- ④ ガラス窓や車など、傷をつけたくない物が近くにありますか？

飛散した小石でガラスが割れたり、傷がつくおそれがあります。板などで養生するか、移動させるなどしてください。



- ⑤ 足元や周囲に障害物はありませんか？

作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確認してください。埋設物があると本機が触れ、感電や漏電・ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

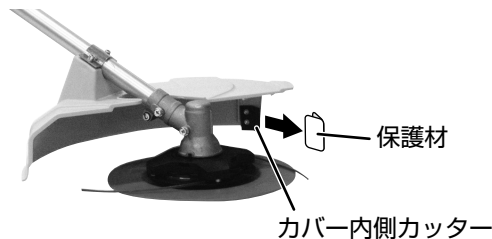
草を刈る

作業前/中の点検

- ・ 17 ページ「定期点検を行いましょう」の表のうち、「作業前」に●がついているものを、すべて行ってください。
- ・ 作業中も適宜、上記の表の「作業中」に●がついているものをすべて行ってください。

草の刈り方

- 1) カバー内側カッター（以下カッター）の保護材を外す



- 2) エンジンを始動する

（17ページ「エンジンの始動」参照）

- 3) 本機のエンジン側に立つ

- 4) ハンドルグリップに親指をかけ、他の指とともにグリップを囲むように握る

- 5) スロットルレバーをゆっくり深く握って、ナイロンカッターを回転させる

ナイロンカッターおよびナイロンコード（以下コード）が高速回転し、コードがカッターにより適切な長さにカットされます。コードが周囲に飛ぶため、必ず長ズボンや保護めがねを着用してください。（21ページ「服装について」参照）

- 6) ナイロンカッターを地面の上で滑らせるようにしながら前進し、草を刈る

作業を一時中断するときは、必ず本機を平坦・水平な場所に移動してエンジンを停止してください。

7) エンジンの停止を行う

（20ページ「エンジンの停止」参照）

警告

- 使用中、本機の調子が悪いときや異常音がしたときは、ただちにエンジンを停止して使用を中止し、点検・修理を依頼する

そのまま使用すると思わぬケガ・事故の原因となります。

草を刈る

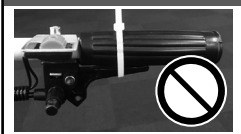
スロットルレバー

⚠ 警告

レバーを握った状態で
ひもなどで固定しない

緊急時にナイロンカッター
の回転が止まらずケガをす
るおそれがあります。

🚫 まちがった例

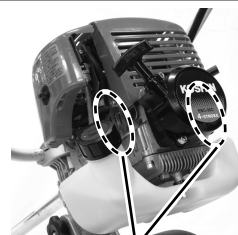


取り扱いのポイント

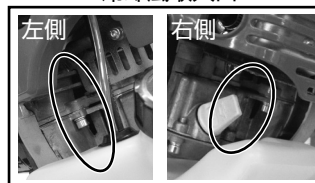
作業中は、レバーは深くにぎるか、
まったくにぎらないかのどちらか
にする

上記以外の状態（≒半クラッチ）でナイ
ロンカッターをゆっくり長時間回し続け
ると、本機が故障するおそれがあります。

冷却風取入口



冷却風取入口



取り扱いのポイント

- ・時々エンジンを停止し、付いた
草やゴミを取り除く

取入口がふさがるとエンジンに冷却用
の空気が取り入れられず、故障（焼き付
き）します。焼き付きは保証外です。

- ・草やゴミを取り除くときは布など
を使用する

水をかけるとエンジンが故障するおそ
れがあります。

ハンドルグリップ

- ・ナイロンカッターが回転している間は
絶対に手を放さない
→振り返りについて（下記参照）

ナイロンカッター

- ・軽く地面に置くようにして滑らせる
（強く地面に押しつけると、摩耗が早まります）
- ・地面を掘り起こすような使い方はしない

⚠ 警告

敷砂利など、飛散するおそれがあるが
取り除けないものがあるときは
地面から軽く浮かせて使用する

ナイロンカッターが接触したとき、
砂利が飛散するなどしてケガをするおそれがあります。

- ・タイヤを中心に、軽く左右に振るようにする
- ・地面と平行にする

⚠ 警告

からまった草を取り除くときは必ず
エンジンを停止する

不用意にナイロンカッターが回転し、
ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意 振り返りについて

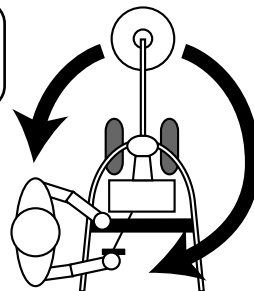
ナイロンカッターが回転している状態でハンドルグ
リップから手を放すなど本機が押さえられていない
状態になると、本機がタイヤを中心に回転する「振
り返り」が発生し、ケガをするおそれがあります。

振り返りが発生しないように

- ・ハンドルから手を放す前にナイロンカッ
ターが完全に停止していることを確認す
る。

エンジン始動時、
万が一振り返りが発生しても
危険性を最小限にするために

- ・ハンドルに親指をかけ、
他の指とともにハンドル
を囲むようににぎる
（スロットルレバーは
にぎらない）



振り返り

はじめに

準備

使用方法

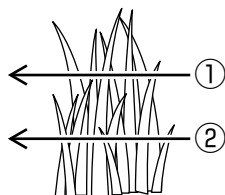
保守・点検

その他

草を刈る

草の背が高くて刈りにくいときは

- ・ あらかじめ背の高い草だけはさみなどで短く刈っておく
- ・ ナイロンカッターが地面から浮くように本機を軽く傾けて草を上から数回に分けて刈るようにする



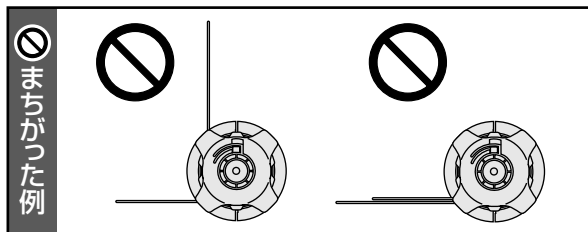
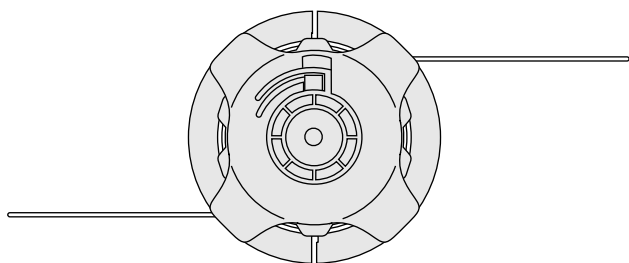
燃料タンクが空になったら

14 ページ「燃料の給油」を参照して燃料を補給してください。

ナイロンコードが短くなったら

- 1) エンジンを通常停止する
- 2) 燃料タンクキャップがしっかりと閉まっていることを確認する
- 3) 12 ページ⑪を参考に一山分コードを引っ張りだす

必ず2本同時に行い、常にナイロンコードが図のように向き合って（対称）出るようにしてください。



- 4) ナイロンコードが短くなり、草が刈れなくなったら、11～12 ページを参考に新しいナイロンコードを取り付ける

使用後のお手入れ

1) 雨などがかからず、平坦・水平で硬い場所に置く

2) 本機が冷めるまで待つ

⚠ 注意



やけどに注意

エンジン各部、ギヤーボックス、ナイロンカッター周辺は高温になります。温度が十分に下がるまで触れないでください。

3) 各部に付いた草やゴミを取り除き清掃する

取り扱いのポイント

・清掃するときは布などを使用する

水をかけるとエンジンが故障するおそれがあります。また、土をかき出すときは棒などで強く押ししたりしないでください。

・ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因になるため使用しないでください。

・以下の場所は特にきれいに清掃してください。本機の故障を防ぎます。

エンジン周り

- ・冷却風取入口

ナイロンカッター周り

- ・ギヤーボックス
(周囲および刃受金具を外したところ)



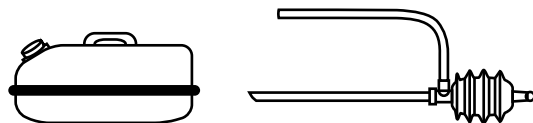
- ・ナイロンカッター
・固定ボルトとその周囲

4) 作業後の点検を行う

(17ページ表中「作業前/後」参照)

燃料タンクに燃料が残っている場合、5)から7)を行う

5) 消防法に適合した燃料携行缶と、手動式ガソリン用ポンプを用意する



⚠ 危険



電動式ポンプは使用しない

引火の原因となります。

6) ⚠ 危険 身体に帯電した静電気を放電する

本機の金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。放電しないと、静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火するおそれがあります。

⚠ 危険



燃料を取り扱うときは、タバコの火や他の火種になるような物を近づけない

7) 燃料タンクキャップを開け、5) で用意した燃料携行缶にポンプを使用して燃料を入れ替える。

⚠ 危険



燃料をこぼさない

燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

一時保管／長期保管

通常の使用後は「一時保管」を、次回の使用が 1 ヶ月以降になる場合は「長期保管」を行ってください。

保管状態	保管に適した場所
通常状態で保管するとき 移動しないよう固定してください (本機にタイヤを固定する機能は付いていません) 	折りたたみ状態で保管するとき 図の向きで地面に置いてください。  壁に立て掛けるなど、上記以外の向きで置くとエンジン故障（オイル上がりなど）のおそれがあります。 ⊘ まちがった例 

一時保管

- 1) 「使用後のお手入れ」をすべて行う
(25ページ「使用後のお手入れ」参照)
- 2) 本ページ冒頭の **保管状態** を参考に本機を地面に置く
- 3) 本機にカバーを掛け、本ページ冒頭の **保管に適した場所** に保管する

長期保管

- 1) 「使用後のお手入れ」をすべて行う
(25ページ「使用後のお手入れ」参照)
- 2) 換気が良く、他の建物などから 1m 以上離れた場所で「エンジンの通常始動」2 ～ 6 を行う
(18ページ「エンジンの通常始動」参照)
- 3) エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待つ
(約 30 秒～ 1 分)
- 4) プライミングポンプを押す
エンジンのヒューエルリターンパイプから燃料タンク内に燃料が出なくなるまで行ってください。

5) エンジンが冷えるまで待つ

- 6) 点火プラグをはずし、プラグ孔から新しいエンジンオイルを 3 ～ 5ml 注入する
- 7) リコイルスターターグリップを 2 ～ 3 回ゆっくりと引いた後、点火プラグを取り付ける

⚠ 注意



リコイルスターターグリップは勢いよく引かない

プラグ孔からエンジンオイルが勢いよく吹き出すおそれがあります。

- 8) リコイルスターターグリップを引き、重くなった状態（圧縮状態）にする
- 9) こぼれた燃料、水、ほこりなどの汚れをきれいに清掃する
- 10) 本ページ冒頭の **保管状態** を参考に本機を地面に置く
- 11) 本機にカバーを掛け、本ページ冒頭の **保管に適した場所** に保管する

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

	症状	考えられる原因	対策	参照ページ
エンジン	リコイルスターターグリップが引けない、または重い	エンジン内のサビ付き	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
		エンジンの焼き付き		
	エンジンが始動しない	★チョークレバーの操作が適切でない	チョークレバーを適切に操作する	19
		燃料タンクに燃料が入っていない	燃料を給油する	14
		★古い燃料（約 1 カ月以上）使用によるエンジン不調	「長期保管」1～5 を行ったあと、正しい燃料に入れかえる	26, 14
		★指定以外の燃料を使用している		
		燃料フィルターにゴミが詰まっている	燃料フィルターを清掃する	28
		燃料フィルターが燃料の油面より上にある	燃料フィルターを燃料タンクの底に押し込む	
		エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	29
		★点火プラグのかぶりなど	点火プラグの清掃・点検・交換	
		キャブレターが詰まっている	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
	・ エンジンが数分動いた後止まる ・ 始動するが回転が上がらなかつたり出力が充分でない	★チョークレバーの操作が適切でない	チョークレバーを適切に操作する	19
		★古い燃料（約 1 カ月以上）使用によるエンジン不調	「長期保管」1～5 を行ったあと、正しい燃料に入れかえる	26, 14
		★指定以外の燃料を使用している		
		燃料フィルターにゴミが詰まっている	燃料フィルターを清掃する	28
		エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	29
		冷却風取入口などエンジンの各部にゴミが詰まっている	ゴミを取り除く	23
		スロットルワイヤーの遊びが大きすぎる	お客様では修理せずに、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へ点検をご依頼ください。	—
	運転中、回転が次第に下がる	★指定以外の燃料を使用している	「長期保管」1～5 を行ったあと、正しい燃料に入れかえる	26, 14
		エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	29
草刈機全体	異常な振動がある	ナイロンカッターの固定ボルトがゆるんでいる	増し締めする	9～10
		ナイロンカッターが変形・破損している	ナイロンカッターを新品に交換する	—
	ナイロンカッターの回転が止まる、または次第にゆっくりになる	ナイロンカッター周辺に草やゴミが巻き付いた	エンジンを停止し、草やゴミを取り除く	25

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保守・点検

お客さま自身が整備作業についてあまり熟知されていない場合は、本誌裏表紙に記載の「工進修理受付窓口」へご依頼ください。

⚠ 危険



作業中は、タバコの火や他の火種になるような物を近づけない
また、身体に帯電した静電気を除去してから給油を行う

放電しないと、静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火するおそれがあります。本機や給油機などの金属部分に手を触れると静電気を放電することができます。

⚠ 警告



換気や風通しが不十分で排気ガスがこもる場所ではエンジンを始動しない

有害な一酸化炭素がたまって中毒を引き起こす原因となります。



点検は平坦・水平な場所でエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチを切(STOP)にし、点火プラグキャップを取り外して行う



点検・整備は本機が冷えてから行う

エンジン停止直後は、エンジン各部、ギヤーボックス周辺、燃料など各部が高温になります。温度が十分に下がるまで触れないでください。ヤケドなどケガのおそれがあります。

エンジンオイルの交換

- ・ エンジンオイルが汚れているとエンジンの寿命を著しく縮めます。交換時期、オイル容量を守ってください。
- ・ オイルは使用しなくても自然に劣化します。定期的に点検・交換を行ってください。

用意するもの

- ・ 指定のエンジンオイル（15ページ「エンジンオイルの給油」参照）
- ・ 付属のオイルポット
- ・ 排出するエンジンオイルを受ける容器

- 1) 燃料がこぼれないよう、燃料タンクキャップを確実に締め付ける

- 2) エンジンを始動し、2～3分暖気運転をする。

エンジンオイルを排出しやすくします。

- 3) エンジンスイッチを切(STOP)にする。

エンジンオイルを排出しやすくします。

⚠ 警告



エンジンオイルは、エンジンが冷えるのを待って交換する

長時間運転後のエンジン停止直後はエンジンオイルが熱くなっているため、ヤケドの原因となります。エンジンが冷えるまで待ってから行ってください。

- 4) オイルを受ける容器を地面に置く。

- 5) エンジンのオイルプラグを外す。本機をオイル注入口側に傾けて、容器にオイルを出す

⚠ 警告



ガソリン・オイルなどの油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）に従って適切に処理する

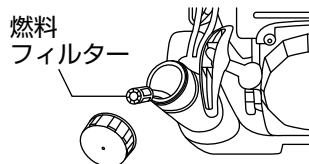
不明な場合はオイルをお買い上げになった販売店にご相談ください。

- 6) 15 ページ「エンジンオイルの給油」を参考に、エンジンオイルを給油する。

燃料フィルターの清掃

用意するもの

- ・ 針金など
- ・ きれいな白灯油



- ・ 針金などで燃料注入口から引き出して、きれいな白灯油で洗浄します。
- ・ 汚れがひどいときは、フィルターを交換の上、タンク内も洗浄します。

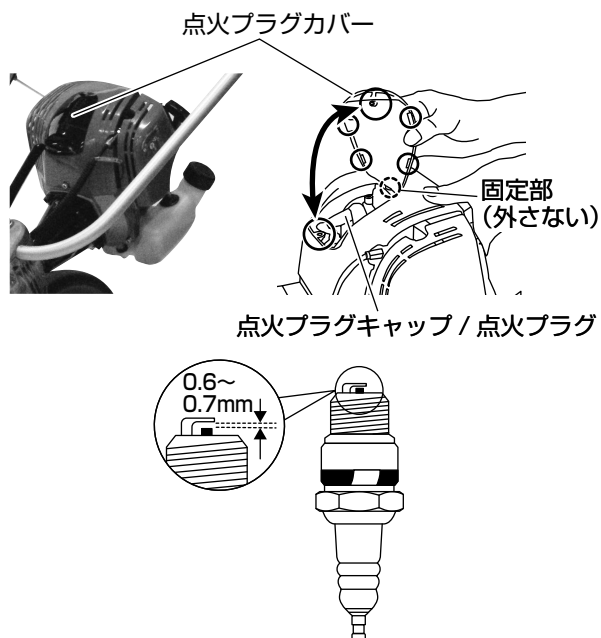
点火プラグの清掃・点検・交換

用意するもの

- ・ 指定点火プラグ：NGK CMR6A
- ・ 本機に付属のプラグレンチ

取り扱いのポイント

故障の原因となるため、指定以外の点火プラグを使用しないでください。



- ・ プラグが濡れているときや汚れているときは、布きれなどで拭いてください。
- ・ プラグのすき間は 0.6 ～ 0.7mm で調節してください。
- ・ プラグ交換後はプラグカバーを閉じてロックをかけてください。
- ・ プラグの清掃やすき間調節をしてもエンジンが始動しない場合は、新しい点火プラグにしてください。

エアクリーナーの清掃

用意するもの

- ・ きれいな白灯油
- ・ きれいなエンジンオイル



エレメントを白灯油で洗浄し、よくしぼる。エンジンオイルに浸し、押しつぶすようにしぼってからケースに組み込みます。

オイルが垂れない程度に余分なオイルを取り除いてください。

取り扱いのポイント

- ・ エレメントをねじらないでください。破れてエンジン不調の原因となります。
- ・ エレメントを取り付けずにエンジンを運転しないでください。エンジンの摩耗が早まります。

ギヤーボックスのグリス補給

用意するもの

- ・ リチウム系万能グリス2号



- 1) ギヤーボックス周囲にこびりついた草などをきれいに掃除する

ギヤーボックス内部への異物の混入を防ぎます。

- 2) 注入穴のボルトを外してグリスを注入する

穴からグリスが少し出るまで注入してください。

- 3) 出てきたグリスを拭き取り、元通りにボルトを締めつける

主な仕様

主な仕様

機種名		EBC-35C	
製品名		手押し式エンジン草刈機	
用途		雑草の草刈り	
刈刃	使用刃物 ^{※1}	ナイロンカッター	
	刈込幅	420 mm	
	ナイロンカッター本体	直径：240 mm、高さ：42 mm	
	ナイロンコード	断面：四角（対辺 2.4 mm）	
	ナイロンコード取り付け方法	手動巻き込み式	
	刃物回転方向	反時計回り（使用者から見て）	
エンジン	エンジン名称	工進 K35	
	型式	空冷 4 サイクルガソリンエンジン	
	総排気量	35 cm ³	
	最大出力	0.81 kW（1.1 PS） / 6,500 rpm	
	使用燃料	レギュラーガソリン	
	燃料タンク容量	約 0.7 L	
	エンジンオイル	4 サイクル用エンジンオイル SE 級以上 SAE 10W-30	
	エンジンオイル規定量	0.1 L	
	点火プラグ	NGK：CMR6A	
	始動方式	リコイルスターター方式	
燃料消費目安		約 50 分（使用条件によって異なります）	
製品重量 ^{※2}		11.6 kg	
寸法（mm）		状態	通常時
		長さ	1,290
		幅	540
		高さ	870
		折りたたみ時	1,100
			540
			490

※ 1

⚠ 警告

!

指定純正ナイロンカッター／コード専用
 その他の刈刃やオプション品は取り付けできません。

⊘

改造禁止
 改造して上記の刈刃などを取り付けた場合、キックバック（跳ね返り）を起こし、重傷を負うおそれがあります。

※ 2 付属品を含む

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保証書

機 種	手押し式エンジン草刈機 EBC-35C		※お買い上げ日	年 月 日
保 証 期 間	お買い上げより 1 年間		※	〒
お 客 様	※お名前		購 入 店	住所
	※ご住所	〒 電話 ()		氏名 電話 ()

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、
下記記載内容で無料修理をお約束するものです。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、
下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき下記の「工進修理受付窓口」へ修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
 - 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
- 家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
- 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
- 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。（バッテリー、Oリング、各種パッキンなど）
- 〈チ〉 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてののみ有効です。
- 保証期間経過後の修理などは、下記の「工進修理受付窓口」へご相談ください。
- 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

お問い合わせ相談窓口

お問い合わせの際は、
【型式※】、お買い上げ年月日、
故障状況などをお知らせください。

※【型式】について
本体または梱包箱への
貼付ラベルに記載しています。



■ 製品・パーツの販売についてのお問い合わせは……
購入店またはお近くの弊社製品取扱店にご相談ください。

■ 製品の修理に関するお問い合わせは……工進修理受付窓口へ

電話 **0120-987-386** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

■ 製品に関するお問い合わせは……お客様相談窓口へ

Eメール **pump@koshin-ltd.co.jp** Eメール用
二次元コード

電話 **0120-075-540** 平日: 9:00~17:00
会社休業日・土日祝祭日を除く。受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。